

湖東支部会報

平成27年度 第1号 滋賀県レイカディア大学同窓会
 ◆発行責任者 松本 寿一 ◆編集責任者 宇野 幸彦

平成 27 年度 レイカディア大学同窓会

湖東支部定期総会が開催されました

去る平成 27 年 4 月 24 日（金）午前 10 時より、彦根市中老人福祉センターにおいて、定期総会がひらかれました。

まず、物故者への黙祷から始まり、レイ大讃歌の斉唱、支部長の挨拶の後、議事に入りました。支部会員 192 人のうち、当日の出席者は 70 人、委任状提出者 65 人で、合わせて 135 人（65.5%）の参加で、総会は成立しました。議事の内容については、事前に



▲定期総会風景



▲総会後のアトラクション
交通安全講座「県警ふれあいチーム」

全員に配布されています資料で進行され、予定された第1号から第4号までの案件、すべて承認されました。その後、アトラクションとして、

県警本部交通企画課ふれあいチームによる「高齢者交通安全教育寸劇」があり交通安全の啓発がありました。今年はお互いに、自分の命は自分で守るという意識で十分に気をつけたいものですね！！

定期総会後、G.G大会が開催されました。

今年も、定期総会后、昼食弁当が出されまして、その後希望者（参加費 500 円）による G.G 大会を隣接する体育館内で実施しました。

参加者は 42 名で和やかに、笑顔と笑いのうちにすすめられました。

成績結果は、

優勝	小林多喜雄氏（スコアー 25、Hインワン 3）
準優勝	吉田 豊 氏（スコアー 32、Hインワン 3）
3 位	守野吉一 氏（スコアー 33、Hインワン 2）

なお、Hインワン賞は、17 名でした。



レイ大同窓会 湖東支部会員作品展の開催



今年も、恒例の会員による作品展が去る7月3日（金）から7月5日（日）まで、彦根市民会館ギャラリーで開催されました。

会員の平素の活動ぶりの作品を、32人の方々から出品していただき、作品数は45点にもなり、華やかな展示となりました。

会場入り口の正面には、年季の入った五葉松の盆栽をはじめ、手作りの甲冑や絵画、写真、工芸等、夫々に精魂込めた作品ばかりで、会員の日頃の素晴らしい成果が感じられました。

なお、展示会場への来場者は、3日間を通じて約100人を超えた程度でしたが、作品自体は見ごたえがありました。

会員の広場

私の楽しい時間

レイ大を卒業後も、「よし笛」や、「玉すだれ」の練習のため、米原公民館を利用させて頂く機会があり、そのご縁で当公民館の講座を受講しています。

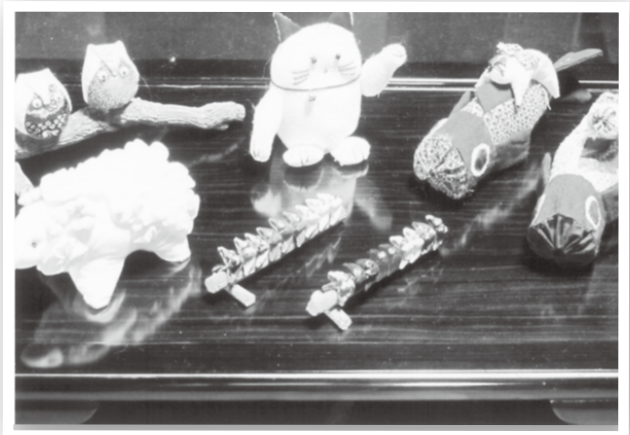
昨年は、「ちりめん細工」を受講し、いろんな可愛い小物を作り、今回の湖東支部の作品展にそれらを出展させていただきました。不器用な私ですが、先生が「上手でなくてもいいのよ、みんな違って、みんないい、それが個性だから大丈夫ですよ、楽しくやりましょう」と言って下さり、教え上手といい雰囲気の中、おしゃべりをしながら楽しく続けています。

受講中に話が盛り上がり「ちりめん細工」で作った「吊り飾り」を東北地方の人達に贈って喜んで頂こうと話がまとまり、その活動にも参加しました。

只今は、「パッチワーク」で「裁縫箱」を作っています。それを完成させ次回の作品展に出展出来ればと思っています。レイ大に入学、卒業した事で多くの友達が出来、私の世界は大きく広がりシルバーを楽しんでいます。

最後になりましたが、運営委員からのお願いです。皆様には、いろんな素晴らしい趣味や特技をお持ちの事と存じます。作品展が年々盛大に賑わいますように、是非とも御出展に御協力宜しく願いいたします。

第33期生 生活科学学科 山本 幸



湖東焼について

第31期生 陶芸学科 宇野幸彦

湖東焼は、文政12年(1829)に、彦根城下の商人「絹屋半兵衛」によって開窯されましたが、当時の彦根藩主、井伊直亮によって藩窯として高級な作品が出来上がり、市中にも出回るようになりました。その後、13代井伊直弼の代には殖産興業策を掲げながら、彦根藩の威信をかけて、優秀な湖東焼の作品を作り公家や大名の贈答用として、名品が作られました。

井伊直弼の代には、藩窯の規模を拡張し、職人の獲得と養成に力をつくし湖東焼は、黄金期を迎えることになった。この時代は主に磁器を中心に、染付、青磁、赤絵、赤絵金彩、色絵等細やかで美しい作品が出来あがりました。



▲「赤絵金彩鯉図鉢」…幸斎 作



▲「赤絵金彩花虫図印籠」…鳴鳳 作



▲「彦根名所図大皿」…文中に表現

有名な幸斎や鳴鳳は、赤絵金彩の製品を作成し高級品として湖東焼の逸品となりました。また、日用品としての湖東焼が大量に生産され、城下の生活品ともなったが、しかし、直弼が1860年に桜田門外で討たれてからは、湖東焼は藩窯としての活動を閉じた。

その後、窯場一式を山口喜平により、払い下げを受けて民窯として存続していた。地元では、「円山湖東」、「長浜湖東」として続いていたが、明治の初めいずれも閉窯した。

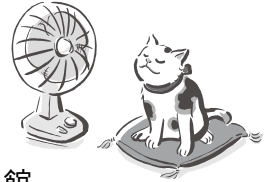
この湖東焼は、幕末から明治の初めにかけての短い期間の作品であり、あまり多くは残っていないようである。このような作品の中で、「彦根名所図大皿」(直径51センチ)は、湖東焼の窯場の風景が描写されているもので、特に優れた作品である。

いずれにしても、湖東焼の歴史は城下の商人 絹屋半兵衛から始まり、井伊直亮時代の8年、直弼時代の10年、民窯になって山口窯、再び井伊直憲による藩窯、円山湖東焼、長浜湖東焼と時代は移っているが、今はたねや美濠美術館に、それらの作品が収蔵されているので興味のあるかたは、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



今後の主な日程予定

第16回本部親善G・G大会	9月17日(木)	竜王ドラゴンハット
湖東支部新会員歓迎会	9月29日(火)	一休庵
湖東支部G・G大会	10月21日(水)	荒神山GG場
4支部G・G大会	10月27日(火)	長浜ドーム
湖東支部研修旅行	11月11日(水)	研修先 未定
第8回地域活動事例発表会	11月18日(水)	近江八幡市ひまわり館



物故者

謹んでお悔やみ申し上げます。

大橋嘉造氏 (24期) 文芸学科 平成27年3月10日ご逝去

訂正

平成27年3月発行の第2号の会報に物故者、黄地新太郎様と誤って記載しました。

大変、失礼をいたしました。正しくは、**黄地藤太郎様**でした。

雑感

湖東支部では、現在192人が会員として登録されていますが、昨年に第35期卒業生の方々がほぼ全員(18名)入会され、誠に喜ばしい限りです。ただ一方では退会者が21名あり、残念な事になります。

退会は高齢を理由に申し出があった事は止むを得ない事情かと察せられます。しかし入会后2~3年で退会される方が数名おられて、他の支部でもこの傾向があり、同窓会として懸案になっている事態です。

編集後記

今回の広報紙の発行にあたり、原稿の投稿がなく、仕方なく湖東支部の行事の報告が主でした。せっかくの支部会員の会報ですので、お互いの情報交換の手段に利用していただけると会報担当の者として張り合いがありますので、今後の活用を期待いたします。

さて、レイ大の卒業生は、レイ大に入学したことに有意義を感じていますが、一般の市民は入学することに躊躇すら感じて億劫さがあります。ここが問題だと思います。

われわれの周りにはいる方々の啓発と、今一步の後押しを同窓生としてお願い致しますと願っています。

会報担当 宇野 幸彦

